

### 73. 自然文化を深める科

【火曜日 授業予定表】講師:中瀬 重幸・増田 昇・菅井 啓之、他

				午前			午後		
回	月	日	曜日	テーマ	内容	講師名	テーマ	内容	
<b>●入学式&amp;オリエンテーション(合同、大阪国際会議場)</b>									
1	4	10	火						
2	4	17	火	森とは何か	樹木と植物・植物遷移	森林インストラクター(みのお森の学校長) 中瀬 重幸 講師	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明		
3	4	24	火	合同オリエンテーション・特別教材勉強会	火曜日コース各合同(自然文深科は午前の部)	高大教務部長他	クラスミーティング	班分け・班/クラス役員選出・カリキュラム説明	
4	5	8	火	●森の果たす役割	森林の多面的機能/森の恵み	森林インストラクター(みのお森の学校長) 中瀬 重幸 講師	●大阪の自然にふれる	新緑の箕面を探访	
5	5	15	火	大阪の森林と都市のみどり①	人と自然のかかわり合いの歴史/みどりに求められる役割	大阪府立大学/植物工場研究センター長 増田 昇 特認教授	自主活動	班ミーティング/年間自主活動計画	
6	5	22	火	<b>●遠足(1)</b>					
7	5	29	火	大阪の森林と都市のみどり②	周辺3山系(森林)の現状と再生/都心部のみどりの風景づくり	大阪府立大学/植物工場研究センター長 増田 昇 特認教授	自主活動		
<b>●学習としての社会参加活動(準備活動)(過去の活動事例研究)会場:ATCグリーンエコプラザ(予定)</b>									
8	6	5	火	●大阪湾の自然にふれる	大阪湾に残る自然海岸「豊島崎」に於いて生きものたちの自然観察	大阪湾漁業調整委員会 専門委員 鍋島 靖信 講師	午前続き水産農水総研水産技術C/栽培漁業C	水産技術C/栽培漁業Cにて稚魚等の観察	
9	6	12	火	●山門水源の森の移り変わり	氷河期から続く琵琶湖の水源、放置された水源の森で保全活動30年	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事 藤本 秀弘 講師	都会の中の里山にふれる	●新・里山探访	
10	6	19	火	●チリメンモンスターとは	チリメンモンスター発祥の地、きしわだ自然資料館で学ぶ	自然資料館アドバイザー 田中 正視/主任学芸員 風間 美徳 講師	紀州街道/だんじり資料館 / 岸和田城探访	岸和田観光ボランティアガイドと共に	
11	6	26	火	●身近なウナギの不思議な謎!	ウナギと人のかかわり、絶滅危惧種のウナギ	和歌山県立自然博物館 学芸員 掛壽 雅 講師	日本の気象・自然災害	●大阪管区気象台	
12	7	3	火	高大白熱教室	高大型白熱教室、提起、討論	環境省自然公園指導員・府自環指導員 田中 正視 講師	自主活動		
13	7	10	火	●淀川がどう変わってきたか	淀川(河川工事)の歴史、自然豊かな淀川を次世代につなぐ活動	大阪工業大学工学部特任教授 綾 史郎 講師	淀川・城北ワンドにて 生きものたちの自然観察会	国交省淀川環境委員会水城部会長 河合 典彦 講師	
14	7	17	火	●淀川河口城の歴史と水辺の生物	淀川の干潟に棲む生きものたち	国交省淀川環境委員会水城部会長 河合 典彦 講師	淀川十三干潟にて生きものたちの自然観察会	国交省淀川環境委員会水城部会長 河合 典彦 講師	
15	7	24	火	<b>夏 休 み</b>					
16	8	4	火	●微小貝にみる命のつながり	この世界には想像を超えた驚きの生命が存在その生命に出会うことで	京都光華女子大学 菅井 啓之 教授	自主活動		
17	8	11	火	●森の植物園で自然観察講座	神戸市立森林植物園名物職員さんの座学と植物園内自然観察	神戸市立森林植物園 福本 市好 講師	午前続き植物園探访	142.6ha、1200植栽樹種の植物園内を散策	
18	8	18	火	●都市環境と自然再生	伝統的な暮らしにおける自然との共生・自然再生に向けた取組	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 上浦 木 昭春 教授	自主活動		
19	8	25	火	<b>●学習としての社会参加活動(日本の原風景:稲刈り田の保全活動に学ぶ予定)</b>					
20	9	2	火	●知ろう伝えよう大阪の生物多様性	淡水とその周辺でくらす生きもの	府環農水総合研究所水生センター 小田 優花 講師 他(調整中)	水生生物センターにて生きものたちの自然観察会	水生生物センター探访	
21	9	16	火	●大阪湾に棲む生きものたち	蛸と人の知恵比べ・アナゴの生態・ウナギとのちがひ等の話	大阪湾漁業調整委員会 専門委員 鍋島 靖信 講師	クラスミーティング	(修了後の活動の場①)	
22	9	23	火	●国史跡「多田銀銅山遺跡」探访	平安時代から探掘が始まり1973年に閉山された銀銅山遺跡を歩く	猪名川町ボランティアガイド	午前続き	探访(静思館等)	
23	9	30	火	●森に棲む生きものたち	住民参加型の生きもの調査の事例と観察の意義	NPOvitaring代表/箕面山麓保全理事 近藤 万理 講師	自主活動		
24	9	6	火	<b>●遠足(2)</b>					
25	10	13	火	●自然を大切に	身近な自然を楽しみ、こんな近くにもいのちの営みがあふれています	環境省自然公園指導員・府自環指導員 田中 正視 講師	自主活動		
26	10	20	火	●里山保全について考える	里山とは、里山植生、保全の実態	森林インストラクター(みのお森の学校長) 中瀬 重幸 講師	午前続き里山保全地区探访	森林インストラクター 中瀬 重幸 講師	
27	10	4	火	※自然工作教室	自然の素材でリース等づくり	NPO法人自然と緑 理事長 高田 七重 講師 他	自主活動		
28	10	11	火	●さくらの歴史と日本人	少し時期は早いですがさくらの語源やさくらと日本人の歴史。うめについても	さくら研究者/樹木医 伊藤 孝美 講師	”		
29	10	18	火	※竹細工教室	自然の竹を素材に	KIIおもちゃクラブ遊竹おもちゃ塾 塾長 松森 一夫 講師 他	”	高大祭・スポ交流準備	
30	11	8	火	●なにわの伝統野菜	なにわ伝統野菜の復活・和食文化を考える	なにわ伝統野菜応援団員 学博士 森下 正博 講師	クラスミーティング	(修了後の活動の場②)	
31	11	15	火	●高大白熱教室	自然に関するテーマ(?)討論・提起	森林インストラクター(みのお森の学校長) 中瀬 重幸 講師	自主活動	高大祭等準備	
32	11	22	火	<b>●スポーツ交流大会・高大祭・10周年記念式典イベント(調整中)</b>					
33	11	23	水	<b>●学習としての社会参加活動(日程変更可)</b>					
34	11	29	火	<b>●昆虫の性の不思議!</b>					
35	11	5	火	●昆虫の性の不思議!	なぜオスとメスがいるのか哺乳類、昆虫、植物のオスとメスの駆け引き	京都大学元教授 榎 宜高 講師	自主活動		
36	12	12	火	●自然はひとつ	自然・生命・人間について考える生きているを見つめ、生きるを考える	JT生命誌研究館館長講座(調整中)	生命誌研究館見学		
37	12	19	火	●世界の中の日本の自然	各地を歩いて感じる日本の自然	森林インストラクター(みのお森の学校長) 中瀬 重幸 講師	自主活動		
38	12	26	火	●日本的自然観を考える	日本人独自の自然観の見方を学び現代の私達の生き方をふりかえる	京都光華女子大学 菅井 啓之 教授	”	学習成果発表会準備	
39	12	5	火	<b>学習成果発表会</b>					
40	12	12	火	<b>●修学旅行(1泊2日)</b>					
41	12	13	水	<b>●修了式(合同、大阪国際会議場)</b>					
42	12	18	月	<b>●修了式(合同、大阪国際会議場)</b>					
授業(白熱教室、成果発表会含む)					31			自主活動	
学習事業					11			●印は校外 ※会場は大阪府社会福祉会館503号室	
合計					42			校外学習会場予約調整中(3~4か月前確定)	

注) 日程、カリキュラム内容等は、現在調整中で都合により変更になる場合があります。

2017/10/18